

# 北海道ふるさと会連合会会報



2016年

No.34

発行者 北海道ふるさと会連合会  
編集 広報部 会  
発行日 平成28年10月13日

事務局 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 (北海道東京事務所内) TEL・FAX 03-3592-0122

E-mail : hokkaido-furusatokai@bz04.plala.or.jp



世界屈指の透明度を誇るカルデラ湖の湖面

写真提供：摩周湖観光協会

## 大自然が創り出した奇跡 〓摩周ブルー〓

「霧の摩周湖」と歌にも歌われ、流入する川も流出する川もないのに水位がほぼ一定に保たれている不思議な湖：摩周湖。ほとんどの時間は霧に包まれ、なかなかその姿を見せてくれない気難しい湖ですが、強風が霧を吹き飛ばし一気に視界が開けると息を呑むような神秘的世界が出現する。まるで藍を流し込んだかのような深い青は〓摩周ブルー〓と呼ばれ、かつてアイヌの人達はこの湖を「カムイ・トウー神の湖」と呼んだ。なぜ神の湖が摩周湖と名前を変えたのか？様々な説があるが真相は謎のまま。

摩周湖を訪れる人達は世界屈指の透明度を誇るカルデラ湖の湖面が光を反射しながら刻々変化する姿に魅了される。

摩周湖の外輪に聳える摩周岳（カムイ・ヌプリー神の山）は約4千年前（縄文時代中期）に活動を開始。約千年前（平安時代）の大噴火で山頂が破壊され現在の姿になった。

摩周湖の水源は雨水と雪解け水。これらが直接、湖面に降り注ぐだけではなく周囲の斜面を伝って湖に入り込む。藍を流し込んだような〓摩周ブルー〓の美しさはその類い稀なる環境が創り出す大自然の奇跡なのだ。